

就活ファクトリー東大阪の
事業内容と実績について

平成30年10月19日

経済部 労働雇用政策室

就活ファクトリー東大阪の事業内容と実績について

「若者と女性の雇用促進と市内企業の人材確保への支援」

就活ファクトリー東大阪の開設の経緯

① 「東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

本市においては、今後予想される人口減少への対策が喫緊の課題となっている。

そのような状況の中、本市及びその近隣地域には6つの大学があり、多数の学生が在籍しているが、大学へ入学する年代の転入超過がある一方、就職する年代の転出超過が入学世代の転入超過を上回っている。このような状況の中、売手市場で人材不足で苦しむモノづくり企業の魅力を伝え、これら学生が市内のモノづくり企業をはじめとする事業所に就職することは、市内企業の人材確保に資するとともに本市への定住促進にも繋がるものと考えられる。

また、子育て中、子育て終了後の女性の復職・再就職に取り組むことは、これらの年代の方が市内で就職することで、潜在的求職者の掘り起こしにも繋がるものと考えられる。

このようなことから、本市が策定している「東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、「基本目標1 産業振興により雇用を提供する」という施策の方向性が定められ、「施策2 雇用政策の推進」において、これを推進する施策として「就労支援ワンストップ窓口の設置」がこの計画に位置づけられた。そして、その具体化として、本市最大の商業集積地である近鉄布施駅前複合施設ヴェル・ノール布施4階フロアに若者と女性の就職を支援するワンストップ窓口として「就活ファクトリー東大阪」（以下「就活ファクトリー」という。）を設置することとなった。

なお、「施策2 雇用政策の推進」では、「評価指標」として、「施策のKPI並びに目標値」として、「学生の地元企業の就職者数を平成31年度までに延べ400名」と掲げており、この施策に取り組む就活ファクトリーは、若者や子育て世代の女性などの就職活動を支援し、モノづくり企業が数多く立地する本市での「市内企業への就職者数100名」に取り組むことを目標とした。

就活ファクトリーの目的

学生等を含む若者や復職または再就職を目指す女性に対し、モノづくり企業をはじめとする市内企業の魅力を伝え、就職に結び付けるための支援を行うこと。

就活ファクトリーの目標（KPI）

市内企業への就職者数100名をめざす

（※各年度単位）

就活ファクトリーの事業内容

近鉄布施駅前の複合施設ヴェル・ノール布施4階に布施公共職業安定所（ハローワーク布施）が平成28年12月に整備され、ハローワーク布施と連携して就職支援活動を行うことができることから、同一フロアに就職支援ワンストップ窓口を設置することが計画された。そして、若者や女性の就職支援を総合的に実施する窓口として就活ファクトリーが平成29年7月に開設された。

同施設の事業としては、キャリアカウンセラーを配置し、相談・キャリアカウンセリング、就職に必要なスキルや就職活動に役立つセミナーの開催、市内企業に対する採用、定着支援、ミニ面接会を実施している。また、「就活ファクトリー」については、就職支援のノウハウをもつ（株）パソナに事業を委託しているところであるが、同社に対しては、障害者や母子家庭など就業阻害要因を持つ求職者の就職支援を行う「地域就労支援事業」の委託も併せて行っている。

なお、同フロアには生活困窮者に対する生活改善対策等の相談窓口である「住居確保給付金相談窓口」や子育て相談や一時保育を行う「市立布施子育て支援センター（ゆめっこ）」が隣接しており、これらの施設とも連携するなかで、効果的な就職支援を進めている。

（主な事業内容）

- ① 求職者を対象としたキャリアカウンセラーによる相談業務
- ② 就職に向けて身につけることが望ましいスキルの向上のためのセミナー及び就職支援のためのセミナーの開催
- ③ 企業情報の提供

④ ミニ面接会等のイベント開催

⑤ 効果的な採用活動や早期離職者の予防に向けたセミナーの開催による企業支援

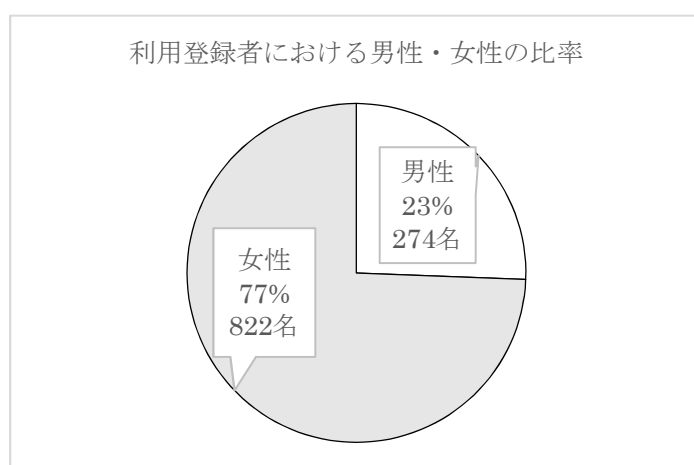
「就活応援窓口事業」については、国の地方創生推進交付金により、事業費の1/2の交付を受け、事業の運営を行っているが、同交付金の交付期限は平成30年度までとなっており、平成31年度の予算からは、「就活応援窓口事業」については国の交付金の交付が見込めず、市の単独での予算計上となり財源的には非常に厳しい状況になる。

就活ファクトリーの実績

平成29年7月24日～平成30年7月末現在（以下「施設開設後、約1年間」という。）

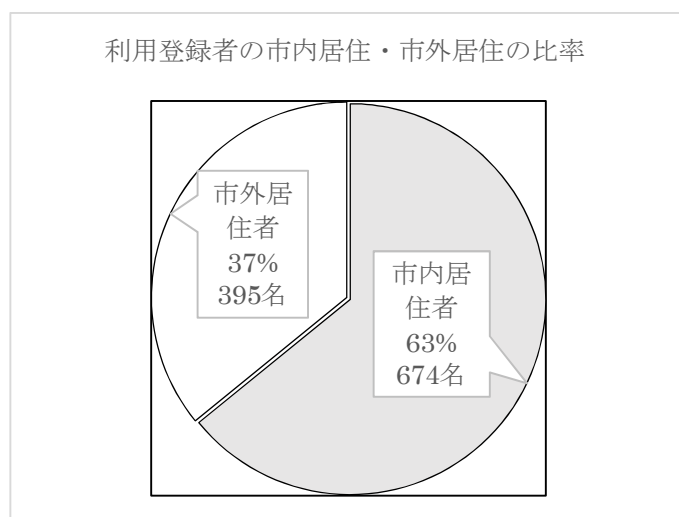
① 利用登録のうち男性・女性の比率

施設開設後約1年間における就活ファクトリーの登録者は、1,069名であり、男性は247名（23%）、女性は822名（77%）で、利用登録者は女性が男性を上回っている。



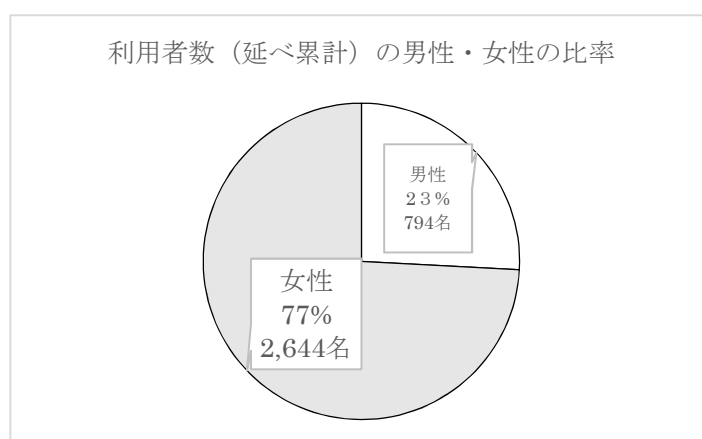
② 利用登録者における市内居住・市外居住の比率

利用登録者1,069名のうち、市内居住の者は674名（約63%）、市外居住の者は、395名（約37%）で、市内居住の者が市外居住の者を上回っている。



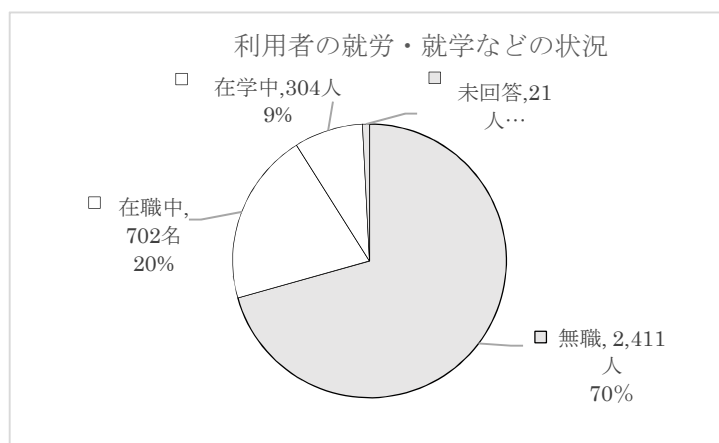
③ 利用者数（延べ累計）と男性・女性の比率

施設開設後約1年間における就活ファクトリーの利用者数（延べ累計）は、3,438名で、うち男性は794名（23%）、女性は2,644名（77%）で、利用者は女性が男性を上回っている。



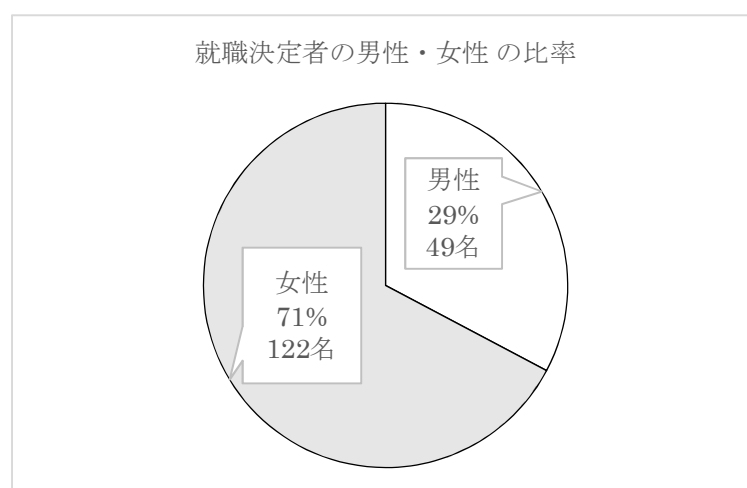
④ 利用者の就労・就学などの状況

施設開設後約1年間における就活ファクトリーの利用者（延べ数累計）は、3,438名であり、そのうち、現在の就労・就学などの状況を尋ねたところ、無職と回答した者が2,411名（70%）、在職中と回答した者が702名（20%）、在学中（大学、短大、専門学校等）と回答した者が304名（9%）、未回答の者が21名（1%）となっている。利用者のうち、無職と回答した者が一番多く、在職中、在学中との回答が続いている。



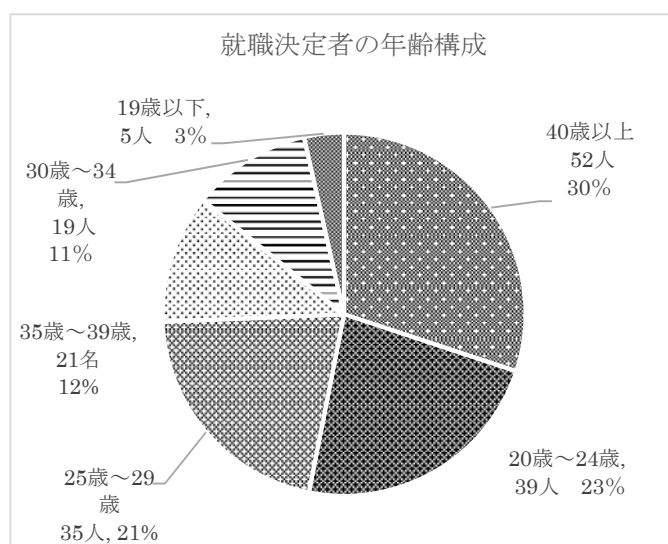
⑤ 就職決定者のうち男性・女性の比率について

施設開設後約1年間における就職決定者は171名で、そのうち男性は49名(29%)、女性は122名(71%)で、就職決定者は女性が男性を上回っている。



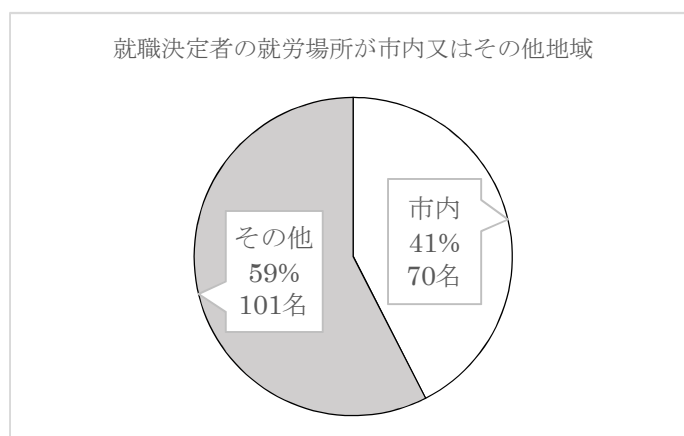
⑥ 就職決定者の年齢構成

施設開設後約1年間における就職決定者は171名で、そのうち年齢が40歳以上の者が52名(30%)、20~24歳の者が39名(23%)、25歳~29歳の者は35名(21%)、35歳~39歳の者が21名(12%)、30~34人が19名(11%)と続き、19歳以下が5名(3%)となっている。



⑦ 就職決定者の市内での就職・その他地域の就職

就職決定者 171 名のうち、就職先の事業所が市内の者は 70 名（41%）、就労先の事業所が市内以外のその他地域の者は 101 名（59%）となっている。



⑧ 各種セミナーの開催回数

施設開設後 1 年間における、就活ファクトリーにおける各種セミナーの開催回数は、計 140 回で、参加者数は 931 名となっている。また参加者の種別は、若者・女性対象のセミナーが 462 名（50%）、女性対象のセミナーが 255 名（27%）、若者対象のセミナーが 192 名（21%）、企業等対象（企業支援）のセミナーが 22 名（2%）となっている。

ハローワークとの住み分け

ハローワーク布施にあつては、従業員の採用を希望する事業所から求人情報を収集し、求職者に職業を紹介すること、また求人を行う事業者による企業説明会や面接会を開催し、求職者と求人企業のマッチングの取り組みを行うなど就職活動の支援などを行うことにより、労働者の生活の安定と雇用の促進に取り組まれている。

就活ファクトリーについては、ハローワークと異なり職業紹介を行ってはいないが、若者と女性が市内企業への就職に結びつくよう、求職者の掘り起こしを行うとともに、就職に不安がある女性や若者が、就職活動に意欲的に取り組むことを促すため、キャリアカウンセラーによるカウンセリングの実施や、求職者のビジネス能力の拡充や採用活動の進展に繋がるよう、各種セミナーを行うことにより、ハローワークと住み分けをはかりながら、就職支援の取り組みを行っている。特に、子育て中や子育て終了後の女性が復職や再就職に繋がるよう女性をターゲットにしたセミナーの充実に努めている。

また、就活ファクトリーが行う、事業主や採用担当者を対象にした、採用支援や定着支援のセミナーについても、市内企業の人材確保の支援のため、ハローワークと住み分けを図りながら、取り組みを進めていく。

就活ファクトリーとハローワーク布施との連携フロー

